

# 昭和レトロを味わう夏の笑タイム! ~夏期親睦交流会~ 2015年7月14日(火) 味園

## 昼の上での「お笑いショータイム!」寛ぎの空間として昭和に回帰する魅惑の一夜!!

毎年大好評の夏期親睦交流会「ビアパーティー」。今回は場所を変えて昭和の薫りにノスタルジックな雰囲気が漂う「味園」が会場。宴会場も舞台も、昔ながらの畳敷に円卓、そして提灯の部分照明が効果的で思いっきり寛げる大空間でした。開会の挨拶には中井専務理事(千房社長)が近況の報告と、今後の活動の案内に含め、この会場の思い出話をされました。そして乾杯のご発声はサッポロビール(株)近畿圏本部長 丸山孝志氏のユニークなご挨拶は、会場を柔らかい雰囲気にしてくださいました。また、松竹芸能の若手芸人「土方兄弟(ひじかたきょうだい)」「ウドントミカン」「ドキドキ☆純情ガールズ」の3組による漫才を楽しませていただきました。土方兄弟は関西演芸推進協議会でもおなじみの兄弟コンビ。今回も軽快に笑いをとりながら、お客さまを上手に巻き込んでの漫才で、宴席と舞台の息も

も合い、各円卓を和やかで賑やかな空気が包みました。美味しいビールに次々と運ばれてくる

お料理でおなかもココロも随分充たされたことと思います。南海電気鉄道(株)の小川部長が閉会のご挨拶をされたあと、なんばマルイお客様担当副店長 尾形清氏の大阪締めでお開きとなりました。



ちょっぴり怪しげなムードもまた味な昔ながらの佇まいを残す「味園」



ユーモアを交えて乾杯のご発声をしたサッポロビール(株)近畿圏本部長 丸山孝志氏



マルイ お客様担当副店長 尾形清氏の大阪締めで閉会となりました



会場を盛り上げてくれた芸人3組(土方兄弟・ウドントミカン・ドキドキ☆純情ガールズ)



土方兄弟



ウドントミカン



# 笑ライブ 第21号

walive

「笑ライブ」とは「笑」、「商」、SHOW(見せる)=LIVEという意味と、「WA」の意味する平和の「和」、みんなで手を繋ぐ「輪」の思いから名称にしました。

2015年8月

【発行】  
NPO法人関西演芸推進協議会 編集部  
＜事務局＞  
大阪市浪速区難波中1-10-4  
千房株式会社内  
TEL.06-6633-1430  
FAX.06-6633-1435  
http://www.walive.org  
info@walive.org

### INFOMATION

会員の皆様には、いつも当協議会へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。今年で9年目を迎え、時の経過の早さに驚きながら、これまでの活動を振り返り、様々なご縁をいただき、あらためて感謝しております。今号の発行は盛夏の時期になりますが、早くも「第4回関西演芸しゃべくり話芸大賞」開催に向けての準備ははじまっています。3面にて案内させていただきますが、9月に予選、10月に本戦と、いよいよ迫ってまいりました。同時に「笑学プロジェクト」も継続中。小学生への笑いを通じてのコミュニケーション力を高められると、ワークショップも好評を頂いております。今後も「芸人を育て、よりよき鑑賞者を育てる」という趣旨のもと、活動を推進してまいりますので、皆さまのご理解、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

### CONTENTS

- ☆定期例会「吉本芸人に学ぶ生き残る力」……………1頁  
(本多正識氏)
- ☆平成27年度定期総会・懇親会……………2頁
- ☆第4回関西演芸しゃべくり話芸大賞ご案内……………3頁
- ☆夏期親睦例会……………4頁
- ☆「笑学」のご案内 他……………4頁

### Report

## 「吉本芸人に学ぶ生き残る力」講師 本多正識氏(漫才作家・NSC講師) 2015年3月18日(水) ハービスPLAZA 6階 会議室

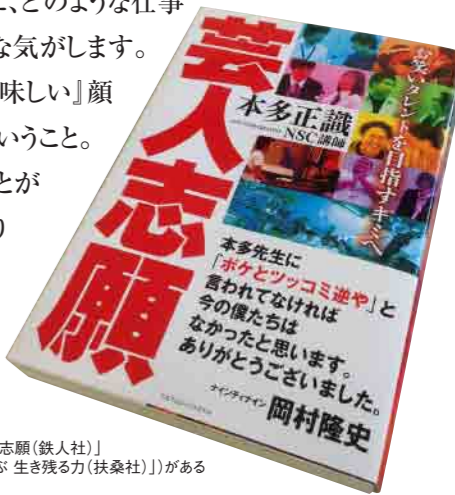
### ラジオ番組への漫才台本の投稿がきっかけ。芸人育成の現場で思うこと。

3月の定期例会は、「話芸大賞」の審査員としても大変お世話になっている漫才作家の本多正識先生をお迎えして、ご自身が漫才作家になられたきっかけや、NSC講師として芸人を育てて来られた足跡などを含め、吉本芸人が人気芸人になる資質や努力など、様々なお話を伺いました。ラジオ大阪「Wヤングの素人漫才道場」のコーナーに台本を投稿されたのが漫才作家になられたきっかけ。中田カウス・ボタンやオール阪神巨人、トミーズなどの漫才台本を手がけられています。また、NSC講師として育てて来られた芸人もたくさん。主にはナインティナインやチュートリアルなど、たくさんの芸人を漫才界に送り出されている。しかし、教育現場では芸人が稽古して来たネタを見るということに徹し、ほとんどがダメだしとか…。講師として始めの頃に関わったナイン



本多正識氏

ティナインには当初のポケ・ツッコミを逆にするよう指示したとか…。その鋭い判断力と、芸人・漫才を本当に「好きだ!」と言い切れる本多先生の話に、どのような仕事にも共通することが見えたような気がします。特に「お客さんが『楽しい』『美味しい』顔を想像してものづくりをする」ということ。「今、目の前にあることをやるのが大事」という言葉には、思いやりのココロと迷うことなく、「今」を大事に生きることが全てだと、強く感じたのでした…。



本多先生の著書「芸人志願(鉄人社)」他にも「吉本芸人に学ぶ 生き残る力(扶桑社)」がある

#### 本多正識氏 プロフィール

'58年 大阪府高槻市出身。漫才作家。NSC(吉本総合芸能学院)講師。  
'79年 ラジオ大阪「Wヤングの素人漫才道場」のコーナーに漫才台本を投稿し、11本連続で漫才台本が採用され、それをきっかけに漫才作家を志す。  
'84年 オール阪神・巨人の台本を執筆しブレーンの1人となる。  
'90年 NSC、'08年YCC(よしもとクリエイティブカレッジ)講師就任。  
'91年 よみうりテレビが主催する上方お笑い大賞・秋田賞を受賞。  
※M-1グランプリ審査員、キング・オブ・コント審査員などを歴任



本多先生の講演が終わって、各テーブルから代表者が質問

### 指

マスタ指抜き!!

憧れのミキちゃんに  
見せて驚かさずぞ!!

ゆゆゆ!!

うわあああ!!

おんなでやろう  
指抜き

①親指を  
まげる  
(お手)

②人指指と  
中指を  
まげる

③人指指と  
中指を  
まげる

④抜く

右親指に  
おまげに  
おまげに

上達し  
指抜き  
指抜き

あああ  
あああ  
あああ

## 笑学 笑いを通してコミュニケーション

### 漫才のワークショップでボケとツッコミ体感! 子どもたちのコミュニケーション能力の向上を図ります。

いじめや学級崩壊など教育現場では様々な問題がありますが、その原因の一つに子どもたちのコミュニケーション能力の不足があると私たちは考えています。伝えたいことをきちんと伝えることが出来るなどコミュニケーションがしっかり取れれば、いじめにつながりそうな出来事も未然に解決されるのではないのでしょうか。そこで、まさにデジタル世代の小中学生に対して、関西の演芸文化の真骨頂である漫才からボケとツッコミを体感してもらい、相手の話を聞き、話の展開を読む力や互いの信頼関係を構築していくアナログのコミュニケーション力「笑学」を体験できるワークショップを企画しています。この企画は、私たち関西演芸推進協議会のプロデュースにより、無償にてワークショップを実施しております。

主催: 特定非営利活動法人関西演芸推進協議会  
特別協力: (株)JOSHO、前田葉子様  
協力: 相互タクシー(株)、(株)小学館集英社プロダクション  
(株)寺岡精工、千房(株)

対象: 大阪府下の小学校  
(募集中※応募校多数の場合は抽選にて決定)

National Institution For Youth Education  
独立行政法人 国立青少年教育振興機構  
「子どもゆめ基金助成活動」

### 関西の上質な演芸文化のために…

上方演芸の文化に触れ、共に育む活動と一緒にしませんか…  
関西演芸推進協議会では、関西の演芸を盛り上げ、若手芸人の活躍を支援し、演芸の伝統を守り次世代へと継承していくために様々な活動をしていきたいと思います。

公式ウェブサイトもご覧ください。  
<http://www.walive.org>

関西演芸推進協議会は文化庁の関西元氣文化圏事業に参加しています。

# 平成27年度 総会・懇親会を開催しました

2015年6月22日(月)  
於)スイスホテル南海大阪

## 第1部「平成27年度通常総会」



総会に先駆けて理事会を5月13日に15名の出席で開催。6月22日(月)、9年目を迎える当協議会の通常総会が開催されました。

例年通り、前年度の事業報告がされ、収支報告を行いました。近年では、「笑学」プロジェクトや「関西演芸しゃべくり話芸大賞」の活動が充実してきたこと、「笑学」プロジェクトでは、東北の小学校でのワークショップ開催において、震災後の子どもたちとの「笑い」を通してのコミュニケーションによって共感することなど、報告と感想が述べられました。また、このプロジェクトには(株)JOSHO様より寄付金の出資を実現することなども報告されました。また、今年第4回となる「関西演芸しゃべくり話芸大賞」の開催には、会員の皆様のご理解とご協力を頂けるよう改めてお願いすると共に、事業継承のご支援に対し、御礼の言葉が述べられました。

## 第2部「記念講演」講師:河内厚郎氏(演劇評論家) ~MANZAIブーム以前の漫才~

第2部では、演劇評論家の河内厚郎氏による記念講演が行われました。「漫才」から「マンザイ」への変換は70年代までと80年代以降とにわけられることから始まり、昔は、演芸全体と上方演芸が共存するスタイルをとっていたということです。今、一部の演芸文化が衰退したのは、そのつながりが弱くなってきたことに原因があるとも。昔の共存スタイルを現代にも活かす工夫が必要であること、昔の共存スタイルを現代にも活かす工夫が必要であることなど、演芸の歴史を紐解き、芸人さんやプロダクションの例を解説しながらお話していただきました。また、歌舞伎の回り舞台文化が道頓堀で発想されたことや、落語が歌謡・マンザイをつないでいることなど、未来の演芸をいかに盛り上げていくか、歴史や過去の遺産を守りつつ新しい「芸」が育まれるということを認識させていただきました。現在は「文化プロデューサー」「演劇評論家」として、能や文楽、歌舞伎などの振興事業に関われ、多方面でご活躍しておられます。関西を中心に様々なイベントもプロデュースされています。ご興味のある方は是非、参加してみても…

### 河内厚郎氏 プロフィール

1952年生まれ。「関西文学」編集長を経て、評論家として「日本経済新聞 舞台表」などを担当。NHK番組審議員。毎日新聞紙面審議員。神戸夙川大学院大学教授などを歴任。文化プロデューサーとして大阪市から「咲くやこの花賞」を受ける。兵庫県立芸術文化センター参与。阪急文化財団理事。宝塚市大使。はびきの市民大学学長。追手門学院大学・大阪樟蔭女子大学の客員教授。「上方落語新進コンクール」審査員。「関西・歌舞伎を愛する会」代表世話人など多くの役職につかれる。著書に「淀川ものがたり」「私の風姿花伝」、編書に「手塚治虫のふるさと・宝塚」、有栖川有栖との対談集「大阪探偵団」など多数。時事通信の書評(評伝・文化評論)を担当。



講師の河内厚郎氏。上方演芸の文化・歴史のお話をじっくりとお話し頂きました。



(株)JOSHO 井上社長(左)と中井専務理事



ご自身がプロデュースする歌謡ショーの案内をされる中村泰士先生



副会長 千田忠司氏からもご挨拶がありました

# 道頓堀400年祭イベント「にぎわいフェスタ」

2015年7月12日(日)  
於)とんぼりリバーウォーク特設会場

7月12日(日)道頓堀400年祭イベント「にぎわいフェスタ」に、当協議会として関西演芸しゃべくり話芸大賞において、これまでのグランプリ受賞の漫才師3組が出演しました。とんぼりリバーウォークに設営された屋外の舞台から、観光客や、イベントでにぎわう周辺を散策する方など、多くの方に笑いをお届けしてくれました。



# 第4回「関西演芸しゃべくり話芸大賞」開催決定!

## 4回目の賞レース、どんな展開に!? 「話芸とは、会話のおもしろさを磨き、芸にしたもの」

第4回となる関西演芸しゃべくり話芸大賞は6月に予選の案内と出場要項、エントリーシートの配布を開始し、既に予選のエントリーを締切しました。今回のエントリーは150組。予選会場は前年同様、道頓堀ZAZA POCKET'Sで9月12日(土)、13日(日)に行われます。今回はどんな芸人がどんな笑いを生み出すのか?今からとても楽しみです。

また、本戦は千日前、なんばグランド花月地下のYES THEATERが会場となり、10月17日(土) 17:00から開催されます。

舞台演出も、今までと異なる予定とのこと、新しい舞台技術・演出も楽しみとなりそうです。

ミナミ界限は、道頓堀400年によるイベントでにぎわいを見せており、更に外国人の観光客で活気づいています。そんな空気も味わいながら、ミナミのど真ん中、YES THEATERで、是非優勝決定戦をご観戦ください!尚、ゲストには元OSKトップスターの桜花のぼるさんをお招きし、歌とダンスのショーをお楽しみいただけます。

10月という過ごしやすい初秋の夕べを是非、一緒に観戦しましょう!チケットも発売中です。

お求めは、事務局までどうぞ!!

**優勝決定戦 チケット販売中!!**  
TEL:06-6633-1430

**優勝決定戦** 第4回関西演芸しゃべくり話芸大賞

話芸とは、会話のおもしろさと言葉のおもしろさを磨き、芸にしたもの

マイク一本で勝負やでっ!

第一回の決勝から4年、激戦の予選を勝ち抜いた関西演芸しゃべくり話芸大賞「グランプリ」争奪戦。更なる熱戦を期待して第4回目の開催です!

優勝賞金 300,000円 + ラジオ大阪出演!

大会審議員 河内厚郎氏(演劇評論家) 本多 正剛(漫才作家) 林 千代(シンクロナイター) 中井 政嗣(関西演芸推進協議会理事) 大池 晶(漫才作家) 千原 しのぶ

日程 平成27年10月17日(土) 17:00~20:00(開場16:30)

会場 YES THEATER なんばグランド花月地下 (大阪府大阪市中央区難波千日前1-1-6)

入場料 全席自由 会員・一般共 2,000円

主催: NPO法人関西演芸推進協議会

チケットのお問い合わせは NPO法人 関西演芸推進協議会 〒556-0011大阪市浪速区難波中1-10-4 千原(株)内 TEL:06-6633-1430 FAX:06-6633-1435 http://www.walve.org E-mail: info@walve.org

ゲスト 桜花のぼるさん

Facebookページ: Kansai Comedy Conversation Grand Prix

## 昨年の受賞者にインタビュー! 第3回グランプリ「トライアングル」準グランプリ「土方兄弟」に話を聞きました!!

「芸人の道に入ったきっかけは?」  
「(悉前の相方がやめた後、田中にさせられてコンビを組みました。(田中)の相方もですが森も高校の同級生で、森が「やりたそう(漫才)を」な雰囲気だったので誘いました。」  
「活動履歴を簡単に…」  
「13年くらい前に子どもが生まれてからコンビで福笑い大賞をいただきました。その後は路上ライブが多かったです。舞台数が少なかったため、誰かに聞いてもらう機会を自分たちで作らなければならぬ」と。路上に来てくれたお客さんが舞台に来てくれるようにという宣伝も考えてはいたが、声は張らなれない、誰か聞いてくれるかわからず、でも、そんな経験が力になったと思います。」  
「これまでに辛かった事は?」  
「(田中)です。でも、ずつとトライアングルにしたいと思っています。お笑いやってるときはすごく楽しいですね。」  
「現在の活動を教えて」  
「コントを中心にやっています。おもしろいことを二人でやるということをシンプルに考えてコントに移行しました。コントを今しかりやっていけば、漫才に突つても面白い物が見つければ、と思っています。」  
「今後どんな芸をやりたいですか?」  
「トライアングルにしかできないもの。今までのような設定、ただ、皆し想像できなかったような。例えば、これ今でもオモロいものやっています。是非今でも、コントな夜」というタイトルで月一回、「コントな夜」というタイトルで角座で舞台上に立っています。是非見に来て下さい!!」

森直樹さん(左)と田中匡さん(右)

「土方兄弟」

「一ババ、前回の準優勝、敗因は?」  
「予選4分、本戦7分。本ネタ一本をいかに延ばすかに回執していたのが敗因かもしれません。2本のネタを繋げるといふ展開も検討すべきだったかもしれせん。」  
「兄弟漫才、いいところは?」  
「良いところ、悪いところ両方あります。兄弟が付いて回るけど、兄弟であることをネタにもできるメリットはありますが、あと、僕(兄)が強く出て拓軌をどうついたりするウケないというところ。僕がアカンタシな兄というスタイルが理想のカチです。※実際の通りやん!インタビュー(笑)」

土方大空(ひろたか)さん(左・兄)と土方拓軌(ひろき)さん(右)